

松阪市子ども支援研究センターだより

松阪市子ども支援研究センター〈TEL. 26-1900 FAX. 26-1901〉
E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>
松阪教育支援センター「鈴の森教室」「やまゆり教室」
〈TEL 26-1900 FAX 26-1901〉 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp

「次のステージへ」～1年間のお礼に代えて

次期学習指導要領の改訂に向けた動きが始まっています。「夢を育み 未来を切り拓く 松阪の人づくり」を掲げる「松阪市教育ビジョン」も次年度に刷新、本市の教育も次のステージをめざします。

去る1月16日、文部科学省の「リーディング DX スクール事業」の指定を受け、三雲中学校・米ノ庄小学校を中心に、公開研究会を行いました。三雲中学校区の先生方のご尽力により、市内をはじめ県内外(北は青森から南は沖縄まで)から約300人の参加者を迎え、大変充実した内容となりました。参加者からは「子どもたち一人ひとりが目標をもち、他者と協働する姿が印象的」「タブレット端末の文房具化が進んでいると感じた」等の感想が寄せられたとともに、「大事になってくるのは子どもたちにどのような力を育むべきかを明らかにしてベクトルを揃えて取り組むことだ」「子ども自身が思考過程、学習方法、まとめ方なども自身で意思決定して学びをつくることができる遊びの部分が重要になってくる」といった、今後に向けた意見もいただきました。

GIGA スクール構想開始より遡ること10年、三雲中学校に端を発する本市の取組は、導入期、拡大期、普及期を経て、浸透期に入りつつあります。日常の授業の中での効果的なICTの活用を充実させていくとともに、蓄積された学習データの利活用がさらに進んでいくよう、「整備」「活用」「研修」を軸に、学校・先生方の「やりたい・やってみたい」を引き続き支援してまいります。また、公開研究会で文部科学省の調査官からいただいた講評においても、「松阪市の次のステージ」についての言及がありました。「児童生徒が主体的に欲する情報にアプローチする」「教員が制限しない児童生徒同士の情報共有」「生成 AI の活用」「多様なアウトプットができるようにする」などのキーワードも大切にしながら、「次のステージ」に向けたモデル事例の創出・横展開に取り組んでいきます。

本年度も当センターの取組にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。教育の情報化をはじめ、教育課題研究、教育相談、教職員研修、不登校児童生徒への支援、外国人児童生徒教育等多岐にわたる取組ですが、皆様とともに一層の充実を図ってまいりたいと思います。

(御堂 栄治)

26人が「ふたば」修了



松阪市の外国籍住民は3月1日現在5,547人で、昨年同時期より398人増加しています。1月11日より開始した毎週土曜日午前に開催の「就学前支援教室ふたば」は、昨年度の2倍近い26人の入室生を迎え、3月22日にその全員が修了しました。

子どもたちは、当初こそ緊張した様子でしたが、次第に自分らしさを発揮するとともに、回数を重ねる毎に成長し、修了時には「小学生らしさ」を感じるほどでした。保護者のみなさんには、毎回の送迎や家庭で宿題をみていただくこと等、大変であったかと思いますが、非常に熱心に協力いただきました。

「言葉や学校のマナーを習って、友だちもできて嬉しかったです」「ふたばに通うようになって、土曜日をとても楽しみにしていました」等の感想もいただき、大変ありがたかったです。4月からの学校生活を子どもたちはとても楽しみにしています。今後とも連携、支援にご協力をお願いいたします。



教育課題研究 2024

教育現場における諸課題や今日的な教育課題の把握のもとにテーマを設定し、教育実践に役立てるべく、本年度も長期研修員2人による研究を、集録にまとめました。関係各所に発送しておりますので、ぜひご一読ください！

研究集録 第147集（長期研修員 堀田 哲也）

「生成 AI を活用した別室登校の児童生徒への学習支援」

不登校のきっかけの1つとして、学業の不振が挙げられている。別室登校生徒の学習に対する不安、支援する先生方の困り感…。生成 AI の活用は生徒の学習意欲・満足度向上に有効か？ 他

研究集録 第148集（長期研修員 宮本 光将）

「動画制作を通じた情報活用能力の育成」

近年、学習の基盤としてますます重要視される情報活用能力の育成。その向上をめざし、地元メディアの協力も得ながら取り組んだ動画制作・投稿は、子どもたちの「またやりたい」96%！ 他

★教育関係書籍を購入しました。ご活用ください。

教育関係書籍、随時追加しております。当センターの事務所にお立ち寄りいただき、ぜひご活用ください。今年度購入した書籍のうち、一部をご紹介します。

（※蔵書は、松阪市子ども支援研究センターホームページの「蔵書案内」より検索できます。）

書 籍 名	著者名等
個別最適な学び×協働的な学び×ICT入門	佐々木 潤
GIGAスクール構想2.0推進ハンドブック GIGA端末の更新で新しいステージへ	丸山 洋司
生成AIで世界はこう変わる	今井 翔太
「言葉による課題解決力」を育てる説明的文章指導	田中 拓郎
算数授業を左右する 教師の判断力	算数授業を子どもと創る研究会
1年間まるっとおまかせ！中1担任のための学級経営大事典 （※「中2」「中3」版も購入）	玉置 崇
かしこく学ぼう！はじめてのお金教室 1 お金を知ろう （※2 お金を使おう も購入）	玉置 崇 みずほ証券株式会社
挑戦し続ける学校SOLAN 自立・自律した学習者のための教育をつくる	瀬戸SOLAN学園 初等部
子どもと保護者に寄り添う「子育て支援」	立花 直樹・安田 誠人 渡邊 慶一
ChatGPTと共に育む学びと心 －AI時代に求められる教師の資質・能力－	鈴木 秀樹・安藤 昇・安井 政樹
情報メディアと教育 新たな教育をデザインする	新地 辰朗・後藤 康志・泰山 裕

統合型校務支援システム導入へ！

積年の課題であった校務支援システムの導入。本市にとって真に必要なものを求め積み重ねた研究が実を結び、ついに次年度 1 月から「統合型校務支援システム」の導入が実現いたします。当初は一定のご負担もおかけしますが、より使いやすい設計とともに研修等、できる限りの支援も行なってまいります。子どもたちの学びの向上、保護者との連携強化、教職員の働き方改革に向け、お力添えください！